

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

広島県広島市

●地域における現状・課題

（管理職及び教員へのアンケート調査より）

- ・ 約8割の教員が休日に部活動を行っている。
- ・ 休日に部活動を行っている約3割の教員が休日の指導を希望しているが、約7割の教員は、休日の指導を希望していない。

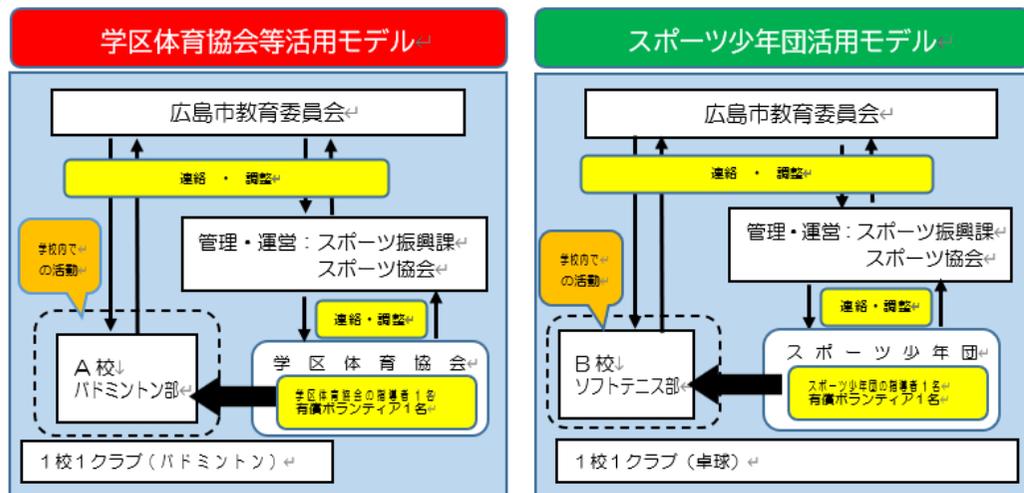
●取組事項の概要

- ・ 学区体育協会等やスポーツ少年団での活動を通して、休日の活動の質的な向上に対する生徒の要望に応える。
- ・ 顧問教師の休日の部活動指導に係る時間外勤務を短縮し、心理的負担を軽減する。
- ・ モデル実施により、参加者の費用負担のあり方を明確にする。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・ 学区体育協会、スポーツ少年団に委託したことで、それぞれの団体が、地域の中で賛同してもらえる人（団体、保護者など）に声をかけ、新たな体制を整えることに成功した。
- ・ 学校部活動を所管する教育委員会と、スポーツの担当部署であるスポーツ振興課がそれぞれの役割に応じて連携した。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営主体：早稲田学区体育協会
戸坂卓球スポーツ少年団
- (3) 種目：バドミントン、卓球
- (4) 指導者の主な属性：学区体育協会で活動している地域住民
スポーツ少年団の指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回程度
- (6) 主な活動場所：生徒が所属する中学校の体育館等
- (7) 主な移動手段：徒歩
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：無料

※先行実施するモデル校の生徒が不利にならないよう

- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1850円